

**令和7年南アルプス市議会  
第4回定例会(12月) 市長説明要旨（抜粋）**

（令和7年11月21日 定例記者会見用）

**南アルプス市**

令和7年南アルプス市議会第4回定例会（12月）  
市長説明要旨（抜粋）

本定例会における議案説明に先立ち、公約である「3本の柱」に沿った取り組みと、本年度実施中の主な事業についてご説明申し上げます。

まず、1つ目の柱『未来をつくる産業振興』についてであります。

南アルプスインターチェンジ周辺整備事業は、本市の将来を見据えた新たな拠点創出を目指し着実に進めております。中央エリアでは地域活性化のため、11月4日から優良企業参入を目指し公募を開始いたしました。「フモット南アルプス」との相乗効果を発揮し民間活力を活かした新たな価値創出を図ってまいります。

また、東部・西部エリアは「地域未来投資促進法」に基づく「重点促進区域」に指定され、課題であった土地利用調整が前進し、事業化への道筋をつけることができました。

本市は南アルプスIC周辺を「まちの新たな玄関口」と位置づけ、産業・交流・賑わいを生み出す起爆剤として整備を推進し、「フモット南アルプス」から中央エリア、東部、西部エリアへと発展の波を拡げ、市全地域での成長を牽引してまいります。

続いて、2つ目の柱『希望をかなえる子育て応援』についてであります。

11月は「秋のこどもまんなか月間」として、オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンの一環として市民講座を開催し、「こども・若者育成支援推進強調月間」に合わせ「市内一斉あいさつ運動」を展開いたしました。これらを通じ「こどもまんなか社会」の実現を目指し全力で取り組んでまいります。

次に、慈恵寮跡地への新たな保育施設整備についてであります。

10月に近隣住民向け説明会を行い、地域の理解を得ながら準備が進められております。利用希望者への説明や入園募集も開始され、来年4月開所を目指し、保育環境の充実を図ってまいります。

次に、物価高騰対策生活支援事業であります。

高校生年代の子どもがいる世帯に対象者1人あたり1万円相当のクオカードを交付いたします。これまで支援が届かなかったこの世代を抱える世帯の負担軽減を図り、子どもたちの健やかな成長を応援してまいります。

次に、タスキをつなぐハンドブックについてであります。

「第3次南アルプス市総合計画」の策定やコストコ開業を契機に、子どもや

若者に市の未来を改めて考えてもらうハンドブック「未来を拓く未来人へ」を作成いたしました。子どもや若者の声を聞く機会をつくり、次世代へのタスキをつなぐ人材育成に活用してまいります。なお、本書は山梨広告賞を受賞いたしました。

次に、若草小学校校舎整備についてであります。

老朽化や児童数増加に伴う校舎改築工事が9月に完了し、3学期から新校舎での生活が始まります。新校舎は「山梨県はぐくみプラン」が掲げる25人学級に対応し、「GIGAスクール構想」に基づくICT環境整備や、ZEB（ゼブ） Ready（レディ）の基準達成など環境配慮型の先進施設であります。今後は屋内運動場改築に着手し、教育環境の一層の充実を図ってまいります。

最後に、3つ目の柱『魅力あふれる地域整備』についてであります。

「南アルプス市過疎地域持続的発展計画」は地域の声を反映するため説明会やワークショップを重ね、12月議会上程を目標に準備してまいりましたが、「山梨県過疎地域持続的発展計画」の策定スケジュールや他自治体の進捗状況を踏まえ、更に内容精査を進め、3月議会へ上程する予定であります。

続いて、現在進めている主な事業についてご報告申し上げます。

まず、「第24回桃源郷マラソン大会」についてであります。

近年の気温上昇による桃の開花時期の早まりと暑さ対策を考慮し、開催時期を3月の最終日曜日に変更いたしました。次回は3月29日に開催いたします。

次に、「十日市祭典」についてであります。

400年以上続く春を呼ぶ祭りとして、皆様に親しまれて開催しております。今回は2月10日に最も近い土日にあたる7日、8日の2日間、中部横断自動車道東側の県道の一部規制して開催いたします。規模は縮小しますが、伝統ある「十日市祭典」を次世代へ継承してまいります。

次に、女性消防隊についてであります。

10月28日に、横浜赤レンガ倉庫で開催された「第26回全国女性消防操法大会」へ20年ぶりに出場し、日頃鍛えたポンプ操法を見事に披露いたしました。

次に、いちやまマートとの協定についてであります。

10月16日に、株式会社いちやまマートと地域の見守りネットワーク事業の協定を締結いたしました。本事業は同社の運営する移動式スーパーにより、一人暮らし高齢者の見守りを行うものであります。公共交通が限られ外出に不安のある高齢者増加に対応し、生活支援として市民の安心につなげてまいります。

す。既に農協や金融機関、生活協同組合とも同様の協定を結んでおり、民間の力を活用した暮らしを支える取り組みを積極的に推進してまいります。

続きまして、本定例会に提出いたしました案件についてご説明申し上げます。

市議会第4回定例会に提出いたしました案件は、条例案10件、補正予算案6件、規約変更案1件、財産に関する案2件、指定管理者に関する案8件、字の区域の変更案1件、市道路線に関する案3件、諮問1件、合わせて32件であります。

詳細については、総務部長、総合政策部長から説明いたします。